

やまと文化の森だより

◆来館者 10万人を達成しました！！

平成 29 年 4 月に、山都町の文化を発信する施設としてオープンした当施設ですが、去る 4 月 11 日に来館者 10 万人を達成しました。

10 万人目のお客様は広島市から山都町に帰省されていた門脇（旧姓：片山）明子さんご家族。当日は、10 万人達成記念セレモニーを実施し、町長から山都町の美味しいものが詰まった記念品の贈呈などが行われました。門脇さんは「立派な交流館。今は山都町を離れているが、小さいころは八朔祭にも参加していた。清和、蘇陽にも様々な良い文化が残っているの、こちらの文化も一緒に盛り上げていただければ嬉しい。」と話されていました。



※写真、梅田町長隣から、門脇明子様、カドワキアキコ、カタヤマクニ子、片山邦子様、門脇様のご子息、片山信昭様

やまと文化の森が 10 万人を達成できたのも、いつもご利用いただく皆様のお陰です。次は 20 万人を目指して、さらに楽しいイベントを企画し、皆様に愛され親しまれる施設にして参りたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお祈りします。

企画展のご案内

※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容が変更になる場合があります。

○～こんなの見たことない！～藤川道博スクラップアート展

期日：4 月 29 日～5 月 16 日 ※最終日は 15:00 までの展示となります。

身近にあるベアリングや消火器、農業用金属資材を使った精巧なアート作品の数々に驚くこと間違いなし！



○「ねこ展やまと」

期日：5 月 20 日～6 月 30 日 ※最終日は 15:00 までの展示となります。

うちの猫ちゃんフォト展示や、熊本在住の漫画家ウオズミアミさんの原画を展示します。また、保護団体の紹介やチャリティーグッズの販売も行います。



～ライフジャケットの貸し出しについて～

山都町では、ライフジャケット（総数 165 個）の貸し出しを行っています。

河川等で水遊びを行う際には、水難事故発生防止のため、ご利用ください。利用料は無料です。

利用申請については、役場山の都創造課に山都町HPに掲載の利用申請書を提出してください。

※数に限りがございますので、夏季には、イベントが重なり使用できないことがあります。

※申請順です。

※使用される 1 週間前までには申請書の提出をお願いします。

(お問い合わせ先) 役場山の都創造課 商工観光係 ☎0967-72-1158

問合せ先 山都町下市 16 番地 ☎72-9400 開館時間 9:00～17:00 入館無料
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日の場合はその翌日)、年末年始等

わたしたちの人權

194

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人權』です

人權作文紹介

令和 2 年度の人權作文を紹介しま
す。今月号は、蘇陽中学校 2 年生(当
時)の鳥巢美奈さんの作文です。

ハンセン病問題から学んだこと

私は、一学期の人權学習で、ハン
セン病問題について学びました。ハン
セン病は感染力がとても弱い病気
です。ですが、らい予防法によって、
ハンセン病に感染した人や病気から
回復した人が長い間、世の中から分
け隔てられ続けました。当時、ハン
セン病のことについて知っている人
は少なく、またハンセン病に対する
偏見のため、感染した人や病気から
回復した人は、いわれない差別を
されることになりました。

私は、ハンセン病という言葉は
知っていましたが、どのような病気
かはよく分かりませんでした。ハン
セン病に感染したという理由だけ



で、差別事象が起こったりしたこと
や、ハンセン病に感染した人が、療
養所という名の施設に入れられて、
一生を過ごした方々もいることが分
かりました。患者さんや病気から回
復した人の中には、家族と離れて暮ら
さないといけない人もいました。差別
で家族との絆や、家族との時間をこわ
されてしまったんだと思います。

私が人權学習で学んだことは、差
別する側の問題であって、される側
には一切責任はないということだ
です。差別が起こる原因は、周りの人々
が、その人のことやその事の表面だ
けを見て、内面や心の中、真実を知
らなかつたり、見ようとしなかつた
ことで、相手や物を傷つけ、それが
大きくなって、差別になるんだと思
います。そしてもう一つ学んだこと
は、無関心であることが一番いけな
いことです。相手のことを知ろうと
しない、相手を理解しようと思わない

無関心なことがいけないということ
を学びました。差別をする人が無関
心なことによって、差別が生まれる
のかなと思いました。

人權学習をすることによって、自
分の中で考えていたことも、友達
の考えで意見がわかつたり、さまざま
な見方や考え方を知ることができ、
将来の自分に役立てると思いまし
た。学んだことを共有していること
も大事だと思えます。なぜなら、学
んだことを発表すると、自分も理解
が深まります。それに、相手の話を
聞くと、よりたくさんを知ること
ができたからです。

今、新型コロナウイルス感染症の
問題で世界はざわついていきます。誰
に、いつ感染するかは分かりませ
ん。いつ深刻な状況になるかも分か
りません。世界の人々は、見えない
敵と戦っています。その中で差別は
起こっています。いつ自分が感染す
るか分からないからこそ、そのこわ
さが差別を引き起こしているのかも
しれません。こんな状況だからこそ、
人々は助け合い、だれか一人の歩
先の未来を明るくするために、差別
をなくしていくのだと思います。

「5・23差別をなくす山都 地区集会」開催中止

5 月 22 日に開催を予定してしまし
た「第 25 回 5・23 差別をなくす山都
地区集会」は、新型コロナウイルス
感染拡大防止のため集会という形
での開催は中止いたします。